

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <https://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠田 比呂志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部
財務部長兼総務部長

(氏名) 力武 洋介 (TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	44,639	11.9	894	18.3	2,067	39.0	890	64.6
2022年3月期第3四半期	39,905	18.0	756	—	1,487	134.8	541	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,899百万円(62.4%) 2022年3月期第3四半期 2,401百万円(47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	40.98	—
2022年3月期第3四半期	24.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	83,878	52,388	55.0
2022年3月期	79,792	49,725	55.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 46,134百万円 2022年3月期 44,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2023年3月期	—	20.00	—		
2023年3月期(予想)				22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	7.7	1,350	△8.9	2,800	6.7	1,950	49.9	89.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	23,611,200株	2022年3月期	23,611,200株
2023年3月期3Q	1,872,473株	2022年3月期	1,891,100株
2023年3月期3Q	21,729,511株	2022年3月期3Q	21,713,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の進展により、経済活動正常化に向けた動きが見られましたが、ウクライナ情勢や中国における経済活動抑制等を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの停滞に加え、急激な為替変動等から、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、徹底した感染症拡大防止策を講じながら、中期経営計画の基本戦略に掲げる収益基盤の強化、新技術・新製品開発、サステナビリティ経営の推進等に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は446億3千9百万円（前年同期比11.9%増）となり、前年同期を上回って堅調に推移いたしました。

損益面につきましては、原材料やエネルギー価格高騰等の影響を受けたものの、売上高の回復により、営業利益は8億9千4百万円（前年同期比18.3%増）となりました。経常利益は、持分法による投資利益や為替変動の影響等により20億6千7百万円（前年同期比39.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億9千万円（前年同期比64.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔塗料関連事業〕

国内需要は回復基調にあることから、主力製品の防水材や床用塗料を中心に建築・構築物用塗料の販売が順調に推移するとともに、集合住宅大規模改修工事等の工事関連売上が前年同期比8.8%増と伸長し、当セグメントの売上高は152億8千7百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

損益面では、建築・構築物用塗料等の一部製品で販売価格見直しを進めておりますが、改善効果に比べ、原材料・エネルギー価格高騰の影響が依然大きく、セグメント損失は4千万円（前年同期はセグメント利益3億3千1百万円）となりました。

〔自動車製品関連事業〕

世界的な半導体不足や中国におけるロックダウン等によるサプライチェーンの停滞が、主要顧客である自動車メーカーの生産台数に影響を与えているものの、需要は前年同期比では回復しており、当セグメントの売上高は293億4千1百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

損益面では、当セグメントにおきましても、原材料・エネルギー価格高騰等の影響を受けましたが、売上高の回復を受け、セグメント利益は9億3千万円（前年同期比121.8%増）となりました。

〔その他〕

保険代理業の売上高は1千万円（前年同期比0.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ40億8千6百万円増加し、838億7千8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加19億6千8百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加6億1千万円、電子記録債権の増加5億9百万円、投資有価証券の増加9億5千6百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億2千2百万円増加し、314億8千9百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加17億9千3百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ26億6千3百万円増加し、523億8千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少2千6百万円、為替換算調整勘定の増加26億2千万円によるものです。この結果、自己資本比率は0.5%減少し、55.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、主要顧客である自動車メーカーの生産台数が前期比では回復しているものの、年度後半にかけて、中国におけるロックダウンによる需要減少等の影響を受けたことから、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、売上高の計画比減少に加え、原材料・エネルギー価格の高騰、持分法による投資利益や急激な為替変動の影響等から、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

以上のことから、2022年11月9日に公表しました2023年3月期通期の連結業績予想を、以下のとおり修正いたしました。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〔通期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,500	1,900	3,550	2,300	105.84
今回修正予想 (B)	59,000	1,350	2,800	1,950	89.73
増減額 (B - A)	△1,500	△550	△750	△350	
増減率 (%)	△2.5	△28.9	△21.1	△15.2	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	54,779	1,482	2,625	1,300	59.90

〔セグメント別業績予想〕

	売上高	セグメント利益
	百万円	百万円
塗料関連事業	19,700	50
自動車製品関連事業	39,300	1,300

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,948	10,916
受取手形、売掛金及び契約資産	13,802	14,412
電子記録債権	2,987	3,496
商品及び製品	1,824	1,850
仕掛品	1,409	1,107
原材料及び貯蔵品	1,431	1,570
未収還付法人税等	—	148
その他	1,456	1,889
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	31,857	35,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,028	9,979
機械装置及び運搬具（純額）	8,481	7,735
土地	4,703	4,679
建設仮勘定	483	1,427
その他（純額）	1,374	1,287
有形固定資産合計	25,071	25,109
無形固定資産		
その他	1,265	1,356
無形固定資産合計	1,265	1,356
投資その他の資産		
投資有価証券	18,255	19,211
長期貸付金	1,504	178
繰延税金資産	99	109
その他	1,793	2,581
貸倒引当金	△55	△59
投資その他の資産合計	21,597	22,023
固定資産合計	47,934	48,488
資産合計	79,792	83,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,649	10,443
電子記録債務	3,376	3,734
短期借入金	5,617	6,416
リース債務	6	7
未払法人税等	601	335
役員賞与引当金	72	—
その他	3,949	3,764
流動負債合計	22,273	24,702
固定負債		
長期借入金	3,209	2,303
リース債務	17	18
退職給付に係る負債	3,313	3,263
繰延税金負債	1,147	1,089
その他	105	112
固定負債合計	7,792	6,787
負債合計	30,066	31,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,194	4,196
利益剰余金	30,547	30,521
自己株式	△1,112	△1,101
株主資本合計	38,383	38,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,989	4,271
為替換算調整勘定	702	3,323
退職給付に係る調整累計額	191	171
その他の包括利益累計額合計	5,883	7,765
非支配株主持分	5,458	6,254
純資産合計	49,725	52,388
負債純資産合計	79,792	83,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	39,905	44,639
売上原価	32,499	36,648
売上総利益	7,405	7,990
販売費及び一般管理費	6,649	7,095
営業利益	756	894
営業外収益		
受取配当金	175	198
持分法による投資利益	214	741
雇用調整助成金	62	22
為替差益	117	85
その他	219	207
営業外収益合計	789	1,256
営業外費用		
支払利息	43	46
その他	14	36
営業外費用合計	58	83
経常利益	1,487	2,067
特別利益		
固定資産売却益	5	68
受取保険金	14	—
投資有価証券売却益	217	15
受取補償金	—	40
特別利益合計	237	124
特別損失		
固定資産処分損	49	88
特別損失合計	49	88
税金等調整前四半期純利益	1,675	2,103
法人税等	674	656
四半期純利益	1,001	1,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	460	555
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	890

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,001	1,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251	△715
為替換算調整勘定	569	1,172
退職給付に係る調整額	△24	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	603	2,016
その他の包括利益合計	1,399	2,452
四半期包括利益	2,401	3,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,661	2,772
非支配株主に係る四半期包括利益	740	1,127

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,268	25,626	39,894	10	39,905	—	39,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	14,271	25,626	39,897	10	39,908	△2	39,905
セグメント利益	331	419	751	5	756	—	756

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,287	29,341	44,628	10	44,639	—	44,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	15,289	29,341	44,631	10	44,642	△2	44,639
セグメント利益又は損失(△)	△40	930	889	5	894	—	894

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。